

平成29年度 第2期海域管理計画モニタリング評価シート

〈知床世界自然遺産地域科学委員会 海域ワーキンググループ〉

1. 評価項目

海鳥類（鳥類）

2. 評価項目の位置付け

[総合評価]

総論	◇知床周辺海域の現状
	◇今後の方向性
	◇モニタリングについて
	◇その他

[横断評価]

地球 温暖化を含む気候 変動	○季節海水の動態とその影響 ・海水の接岸時期変動 ・水温の変動 ・季節海水と海洋生態系
生態系と 生物多様性	○生態系 ・海洋生態系と陸上生態系の相互作用 ○生物多様性 ・食物網,生物多様性,平均栄養レベル

[個別評価]

海洋環境 と 低次生産	海水
	水温・水質・クロフィラ・フランクtonなど
沿岸環境	有害物質
魚介類	サケ類
	スケトウダラ
海棲 哺乳類	トド
	アザラシ類
鳥類	海鳥類
	海ワシ類
社会経済	資源環境、食料供給、産業経済、文化振興、地域社会

3. 評価項目に関わる調査・モニタリング表

モニタリング項目	主な内容	調査名称等
ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査	ウトロ港から相泊港まで区画ごとに繁殖数をカウント。ケイマフリは生息が確認されている範囲の海上で個体数をカウント。営巣数変動も記録	平成29年度知床国立公園ウトロ海域におけるケイマフリ調査業務報告書（環境省） 2017海鳥営巣経年（ウトロ海域環境保全協議会）

4. 保護管理等の考え方


各種調査や情報の収集を行い、鳥獣保護法に基づく適切な保護管理を行う。

5. 評価


(1) 現状

<p>○ケイマフリ 2016年の最高羽数は7月7日の239羽で、これは2002年の調査開始以来最も多い個体数となった。また、平均個体数は159羽で、こちらも調査開始以来最多となった。営巣数についても、過去最高である57巣を記録し、昨年（2015年）と比べても大幅に増加している。巣は2m～40mの岩穴や岩の隙間であった。</p> <p>○ウミネコ 2001年の776巣をピークに減少し続けており、2013年、2015年、2017年は、営巣の確認ができなかった。</p> <p>○オオセグロカモメ 2006年は1709巣が確認されたが、年によっては上下するものの全体的な流れとしては減少している。2014年から増加の兆しが見えたが、2017年には減少し、773巣となった。</p> <p>○ウミウ 2017年のウミウの営巣数は知床半島全体で187巣、斜里町側173巣、羅臼側14巣であった。</p>
--

(2) 評価

評価	<参考> H28 (2016)	ケイマフリはやや増加。増減はあるが長期的にゆるい増加傾向にある。ウミネコはごく少数が繁殖した。オオセグロカモメは昨年と差はなく、長期的にはゆるい減少傾向にある。ウミウは昨年より減少した。長期的には横ばいかわずかな減少。
	H29 (2017)	

(3) 今後の方針

今後の方針	<参考> H28 (2016)	希少種のケイマフリは緩やかな増加傾向にあるが個体数はまだ少なく、カモメ類は弱い減少傾向にあり、調査継続の必要がある。
	H29 (2017)	

6. モニタリングの概要

(1) ケイマフリ

調査・モニタリング名	ケイマフリの生息海域の分布や繁殖地等の生息状況調査
主な内容	ケイマフリの生態把握
対象地域	斜里町（ウトロ港～エエイシレド岬）
調査期間	2017年6月7日～8月4日
調査主体	環境省

表9-1 記録数の変化

年	2002	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
最大個体数	129	148	129	140	107	98	95	96	142	140	131	176	142	239	237
平均個体数	62	88.67	56.22	92.22	64.3	61.89	62.17	61.72	94.53	99.91	104.6	128.1	115.6	159.3	157.4
標準偏差	38.19	29	27.22	31.29	22.4	24.18	24.94	23.05	36.98	22.98	25.9	33.28	13.92	38.27	40.11
最小個体数	10	46	17	40	23	25	17	21	25	67	64	79	90	113	104
調査回数	14	12	18	9	20	18	12	18	15	11	8	8	9	10	10

表出典：環境省「平成29年度知床国立公園ウトロ海域におけるケイマフリ調査業務報告書」

2017年は、個体数237羽、平均個体数157羽であり、個体数及び平均個体数は、調査開始以来最多であった2016年に次ぐものであった。

調査・モニタリング名	ケイマフリ営巣分布調査
主な内容	ケイマフリの繁殖状況を把握するために、営巣地域及び営巣数について調査
対象地域	斜里町（プユニ岬～エエイシレド岬）
調査期間	2017年6月7日～8月4日
調査主体	環境省

表9-2 ケイマフリの営巣数の経年変化

地域名 / 年	2002	2004	2005	2006	2007	2008	2009
プユニ岬～男の涙	10	11	7	25	24	6	25
男の涙～象の鼻	10	3	0	4	1	1	1
象の鼻～岩尾別	1	4	5	8	2	0	1
岩尾別台地 I	0	12	2	4	7	8	4
岩尾別台地 II	0	1	0	2	2	4	3
トークシモイ	3	7	0	3	1	0	1
Total	24	38	14	46	37	19	35

地域名 / 年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
プユニ岬～男の涙	9	23	21	19	25	25	26	18
男の涙～象の鼻	3	6	4	4	4	2	0	4
象の鼻～岩尾別	1	0	1	0	0	1	3	2
岩尾別台地 I	6	5	8	10	12	7	25	15
岩尾別台地 II	2	9	11	6	5	10	2	6
トークシモイ	0	1	1	0	1	1	1	1
Total	21	44	46	39	47	46	57	46

表出典：環境省「平成29年度知床国立公園ウトロ海域におけるケイマフリ調査業務報告書」

2017年に確認した営巣数は46巣と昨年（2016年）よりも11巣少ない結果となった。巣は2m～40mの岩穴や岩の隙間であった。

(2) ウミネコ、オオセグロカモメ、ウミウ

調査・モニタリング名	2017年知床半島における海鳥の営巣状況
主な内容	海鳥を保護していくために必要な基礎データを収集
対象地域	斜里町ウトロ港周辺～羅臼町相泊港
調査主体	ウトロ海域環境保全協議会



図9-1 海鳥繁殖分布調査範囲と区域割

図出典：「2016年海鳥繁殖分布」ウトロ海域環境保全協議会

○ウミネコ

表9-3 ウミネコの営巣数の経年変化

ウミネコの経年変化(1997年から2006年)

区域/年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
A	94	280	346	612	772	159	226	122	134	0
B	18	114	54	26	4	0	0	0	27	147
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Total	112	394	400	638	776	159	226	122	161	147

斜里側

ウミネコの経年変化(2007年から2017年)

区域/年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017
A	0	6	166	56	0	0	0	12	0	8	0
B	3	214	199	282	256	119	0	0	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
G	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Total	3	220	0	338	256	119	0	12	0	8	0

斜里側

(羅臼町側での営巣記録がないため削除した)

表出典:「2017海鳥営巣経年」ウトロ海域環境保全協議会

表9-4 知床半島全体におけるウミネコの営巣数(1997~2017年)

0は営巣数がなし

年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年
営巣数	112	394	400	638	776	159	226	122	161	147

年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
営巣数	3	220	0	338	256	119	0	12	0	8	0

表出典:「2017海鳥営巣経年」ウトロ海域環境保全協議会

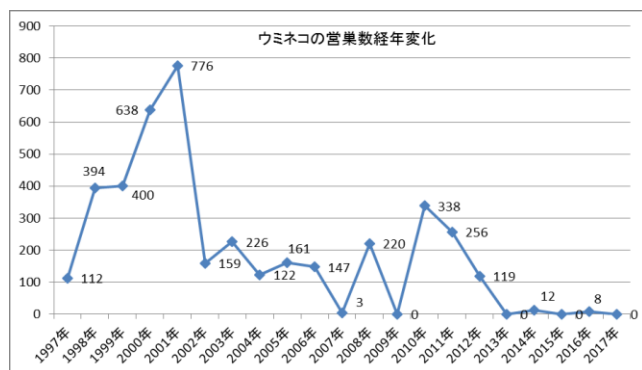


図9-2 ウミネコの営巣数の経年変化
図出典:「2017海鳥営巣経年」ウトロ海域環境保全協議会

2001年の776巣をピークに減少し続けており、2013年と2015年には営巣の確認ができなかった。2017年も営巣の確認ができなかった。

○オオセグロカモメ

表9-5 オオセグロカモメの営巣数の経年変化(1997年から2006年)

区域/年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	※2006	
A	599	637	785	569	806	642	806	784	760	1046	斜 里 側
B	139	238	223	354	421	31	109	95	100	91	
C	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	
D	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0	
E	0	0	0	0	0	0	0	12	—	0	
F	73	271	355	191	21	20	63	16	—	81	
G	29	68	62	36	0	0	28	20	—	34	
H	80	257	284	297	69	119	165	153	—	163	
Total	920	1471	1709	1447	1317	812	1171	1080	860	1415	
I	—	—	—	—	—	—	105	148	—	88	羅 臼 側
J	—	—	—	—	—	—	189	303	—	231	
K	—	—	—	—	—	—	23	77	—	63	
知円別											
材木岩										60	
羅臼港											
Total							317	528		382	

表9-6 オオセグロカモメの営巣数の経年変化(2007年から2017年)

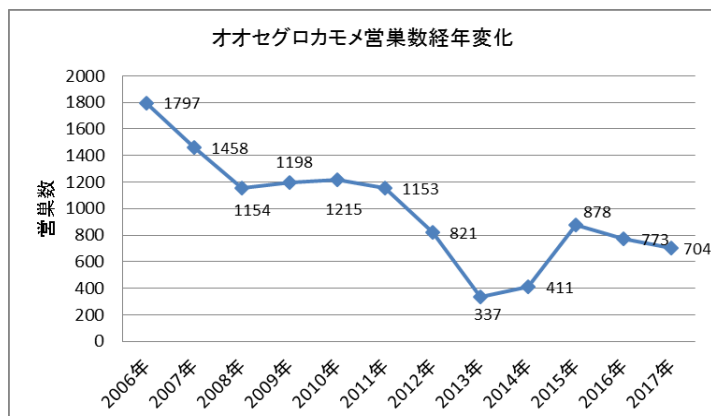
区域/年	2007	2008	2009	※2010	2011	2012	2013	2014	※2015	2016	2017	
A	745	547	604	560	527	412	196	161	291	308	259	斜 里 側
B	63	15	50	46	0	18	0	0	0	3	2	
C	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
D	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
F	17	38	38	58	30	16	39	6	34	0	4	
G	10	4	9	4	10	4	7	10	15	8	2	
H	154	188	115	128	180	96	49	115	126	79	97	
Total	1016	792	816	796	747	546	291	292	466	398	364	
I	102	69	91	73	78	45	2	4	46	8	9	羅 臼 側
J	238	239	220	219	194	164	11	46	66	33	51	
K	102	54	71	127	134	66	33	69	45	31	34	
知円別									39	68		
材木岩									55	28		
羅臼港									161	207		
Total	442	341	382	419	406	275	46	119	412	375	94	

表出典:「2017海鳥営巣経年」ウトロ海域環境保全協議会

0は営巣数がなし —は未調査
 ※2006年と2010年そして2015年はモニタリングサイト
 1000と知床海鳥研究会の共同調査

表9-7 オオセグロカモメのウトロ市街地から羅臼相泊までの営巣数(2006～2017年)

年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
営巣数	1797	1458	1154	1198	1215	1153	821	337	411	878	773	704



表出典:「2017海鳥営巣経年」ウトロ海域環境保全協議会

図9-3 オオセグロカモメの営巣数の経年変化
図出典:同上

2006年は1709巣が確認されたが、年によっては上下するものの全体的な流れとしては減少している。2014年から増加の兆しが見えたが、2017年には減少し、704巣となった。

○ウミウ

表9-8 ウミウの営巣数の経年変化(1997年から2006年)

区域/年	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	※2006
A	270	194	200	214	157	63	231	97	218	304
B	140	159	162	209	0	114	229	137	200	206
C	0	0	0	0	0	80	0	0	—	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
F	44	66	49	67	96	0	14	15	—	14
G	2	20	1	23	46	0	0	63	—	33
H	106	163	106	107	79	48	64	64	—	144
Total	562	602	518	620	378	305	538	376	418	701

斜里側

I	—	—	—	—	—	—	—	54	—	0
J	—	—	—	—	—	—	42	37	—	36
K	—	—	—	—	—	—	0	0	—	10
材木岩										
Total	—	—	—	—	—	—	42	91	—	46

羅臼側

知床半島全体										
Total	—	—	—	—	—	—	580	467	—	747

表9-9 ウミウの営巣数の経年変化(2007年から2017年)

区域/年	2007	2008	2009	※2010	2011	2012	2013	2014	※2015	2016	2017
A	214	338	559	302	259	298	92	90	291	153	70
B	127	113	137	157	76	75	19	161	145	62	25
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
F	7	21	14	19	0	36	0	10	10	0	0
G	0	9	21	0	0	9	0	9	0	0	0
H	51	62	24	91	51	79	44	37	78	88	78
Total	399	543	755	569	386	497	155	307	524	303	173

斜里側

I	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0
J	41	62	44	54	46	0	0	7	0	0	0
K	5	5	7	19	7	36	10	0	14	0	14
材木岩									18	12	0
Total	46	85	51	73	53	36	10	7	32	12	14

羅臼側

知床半島全体											
Total	445	628	806	642	439	533	165	314	556	315	187

表出典:「2017海鳥営巣経年」ウトロ海域環境保全協議会

0は営巣数がなし —は未調査
 ※2006年と2010年そして2015年はモニタリング
 サイト1000と知床海鳥研究会の共同調査

年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
ウミウ営巣数	747	445	628	806	642	439	533	165	314	556	315	187

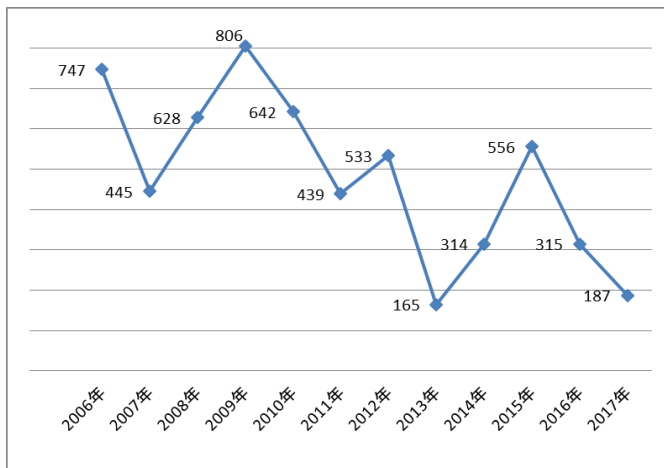


表9-10 知床半島全体におけるウミウの営巣数(2006~2017年)

表出典:同上

図9-4 ウミウの営巣数の経年変化
 図出典:同上

2017年のウミウの営巣数は知床半島全体で187巣、斜里町側173巣、羅臼側14巣であった。

